

平成29年10月22日執行

神奈川県第7区選挙区(横浜市港北区、都筑区(荏田東町、荏田東1~4丁目、荏田南))

# 衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

Democratic Party of Japan

プロフィール  
母子家庭の貧困家庭で育つ。文字通りの「子どもの貧困」を生き抜く。  
日吉中学卒業後、いつたん就職。一年奮起、働きながら平沼高校に復学。  
後に慶應義塾大学(通信制)に進学。飲食店経営を経て、ITベンチャー企業現  
史上年最少年当選。行政改革が評価され、「最優秀政策提言賞」  
受賞。2014年衆議院選挙に初挑戦、惜敗。綱島在住。柔道整復師。



## 「これまで」への感謝「これから」への投資

重点政策

### こども・子育て・教育

「幼児保育・教育の無償化」、「子育て支援」の大幅拡充、国の予算措置で「中学校給食」を実現

### 経済

「人工知能・ロボット・IoT・ブロックチェーン」、進化するテクノロジーで社会と経済を大改革

### 行政改革

「森友・加計問題」の徹底究明。適切な情報公開のための法整備で、政府による隠ぺいはゼロへ

### 立憲主義

立憲主義の確立。時代の変化に合わせた、国民一人ひとりの声が反映される政治へ

### 年金・社会保障

「年金支給漏れ」の徹底解明。充実した生き方をささえる、持続可能な社会保障システムの確立

### 消費税

アベノミクスの失敗による「格差」を放置した消費増税には反対。将来的な、社会保障の基礎財源としての役割は前向きに議論

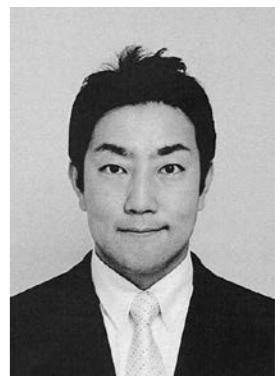
### 原発ゼロ・自然エネルギー推進

「原発ゼロ基本法」の制定。国民を危険にさらさない新しいエネルギー体制の確立

### 平和主義

平和主義に根差した、外交・安全保障の再生。周辺事態への現実主義的な対応

だれも排除されない社会へ  
生きる社会へ進みたい。傷つけ排除する社会ではなく、包みこみ共に  
高齢者に寄りそい、子育て支援は第一に  
新しい社会へ。そのため、社会保障システムの抜本改革を目指します



立憲民主党公認

# 中谷一馬

なかたにかずま

希望の党

守るべきものはしっかり守る。変えるべきものは大胆に変える。



川野あん プロフィール

神奈川県横浜市生まれ  
横浜市立篠原小学校、中学校卒  
桜美林大学国際学部卒  
弁護士法人 ITJ 法律事務所入社  
2017ミスユニバースジャパン  
ディレクター  
希望の党 政党役員  
趣味 楽器演奏、旅行  
座右の銘 運命と未来は変えられる  
尊敬する人 小池百合子

## 日本に希望を。 希望の党⑨の公約

- 公約 01 消費税増税凍結
- 景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。
- 公約 02 議員定数・議員報酬の削減
- 国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。
- 公約 03 ポスト・アベノミクスの経済政策
- 徹底した規制改革と特区を最大活用し、民間の活力を生かした経済活性化を図ります。

- 公約 04 原発ゼロへ
- 「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えています。
- 公約 05 雇用・教育・福祉の充実
- 正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決の力があります。
- 公約 06 ダイバーシティ社会の実現
- すべての人が輝ける社会をめざします。特に、女性、シニアの力をさらに生かします。
- 公約 07 地域の活力と競争力の強化
- 現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。
- 公約 08 憲法改正
- 憲法9条をふくめ憲法改正論議をすすめます。国民の知る権利、地方自治の分権を明記します。
- 公約 09 危機管理の徹底
- 外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。

# 川野あん

35歳

安心な社会、安全な国家、川野あんが改革します。

第48代 自民党青年局長  
**鈴木けいすけ**

## 自民党を変え、政治を変える。 改革断行。



政府の焼け太り、利権政治と断固闘う。「小さな政府」へ。

●必要性の低い公共事業や生活保護問題に代表される「大きな政府」、既得権を守る政治と訣別。また二重行政を廃し、議員・公務員数も削減。  
●将来の大増税阻止のため、無駄な歳出削減を徹底、社会保障等でも優先順位を明確化、適切なタイミングでの最小限の消費税率引上げにより金利負担を最小化。



戦略的外交と現実的安全保障で日本を護る。

●日米同盟を基軸にオーストラリア、台湾、ペトナム等とも連携し、中国や北朝鮮の国際秩序への挑発に対抗。  
●北朝鮮のミサイルに対する迎撃態勢強化などの装備面、憲法を含む法制面の整備を進め、東アジアの危機に日米が一体となって対応できるよう日米同盟の深化を図る。



バラマキなしで景気回復。構造改革・国際競争力強化で日本復活。

●官主導の旧来型の公共事業中心の経済対策から、減税や規制緩和を中心とする真に民間活力主導の成長戦略への転換。  
●日本の競争力をフル活用するために、TPP11等の枠組みを活用し、中国に主導させない形での財産権などの国際ルールづくりに積極関与。



「子育て」「人づくり」こそ國の礎。頑張る人が主役の「やればできる」日本。

●公教育、給付型奨学金の充実、グローバル人材の育成、待機児童対策などの子育て支援など、将来への投資を優先。  
●再チャレンジしやすいベンチャー支援、真に「適材適所」を実現するよりフレキシブルな労働市場への改革などにより、「頑張らない人に優しい」社会でなく「頑張る人が報われる」社会へ。



自民党公認

# 鈴木けいすけ

40歳

30年前、ビジネスやマネーは、黙っていても世界から日本にやってきました。しかし、今はやかつてのような圧倒的な経済大国日本ではありません。厳しい国際競争の中で、政治が適切な戦略と政策を打ち出せなければ、ビジネスもマネーも日本に惹きつけることは出来ません。この5年間、TPP、「一ポーレートガバナンス改革」、法人税減税、規制改革、農政改革、医療改革など、旧い政治勢力の抵抗がありながらも、改革を進めてくることが出来ました。それは多くの皆様から、改革を進める安倍政権の姿勢に支持をいたいたからです。また、緊張が高まる北朝鮮情勢。野党の反対の中で平和と安全法制を成立できたからこそ日米関係が強化され、北朝鮮の日本攻撃への抑止力となっています。現実に国民の命を守るために、国際社会の情勢を正確に見極める洞察力と、必要な政策を着実に進める胆力が欠かせません。

この5年間、TPP、「一ポーレートガバナンス改革」、法人税減税、規制改革、農政改革、医療改革など、旧い政治勢力の抵抗がありながらも、改革を進めてくることが出来ました。それは多くの皆様から、改革を進める安倍政権の姿勢に支持をいたいたからです。また、緊張が高まる北朝鮮情勢。野党の反対の中で平和と安全法制を成立できたからこそ日米関係が強化され、北朝鮮の日本攻撃への抑止力となっています。現実に国民の命を守るために、国際社会の情勢を正確に見極める洞察力と、必要な政策を着実に進める胆力が欠かせません。

30年前、ビジネスやマネーは、黙っていても世界から日本にやってきました。しかし、今はやかつてのような圧倒的な経済大国日本ではありません。厳しい国際競争の中で、政治が適切な戦略と政策を打ち出せなければ、ビジネスもマネーも日本に惹きつけることは出来ません。この5年間、TPP、「一ポーレートガバナンス改革」、法人税減税、規制改革、農政改革、医療改革など、旧い政治勢力の抵抗がありながらも、改革を進めてくることが出来ました。それは多くの皆様から、改革を進める安倍政権の姿勢に支持をいたいたからです。また、緊張が高まる北朝鮮情勢。野党の反対の中で平和と安全法制を成立できたからこそ日米関係が強化され、北朝鮮の日本攻撃への抑止力となっています。現実に国民の命を守るために、国際社会の情勢を正確に見極める洞察力と、必要な政策を着実に進める胆力が欠かせません。